

親園地区の

将来像について



高瀬 重嗣 議員



一般質問



櫻井 潤一郎 議員



土地改良区の
維持管理について

質問.. 大田原市は、南北を結ぶ

道路は、幅の狭さ、迂回路不足、重要施設へのアクセス道未整備

といった問題を抱えているのではないのでしょうか。主要地方道

大田原氏家線親園佐久山バイパスのライスラインまでの完成見込みについて伺います。

答弁.. 県は令和7年度末の供用開始を目標に工事を進めています。

質問.. ライスライン以北の整備

促進について、市の考えを伺います。

答弁.. 整備を促進すべきと考えており、引き続き県への要望活動等を行ってまいります。

質問.. 市道親園佐久山線、市道加治屋親園線、市道大田原グリーンパーク線の整備について伺います。

答弁.. 市道親園佐久山線は、今

のところ事業計画はありません

が、ライスライン以北のバイパスの整備の進捗に合わせて、拡

幅改良事業を検討してまいります。市道加治屋親園線は、事業再開

に向け、地権者の方々に対して相続登記の働きかけを行ってまいります。市道大田原グリーン

パーク線は、他事業の進捗状況を確認し、本路線の整備に向けて調査等を行ってまいります。

質問.. 用水路・排水路の維持管理について、農道の維持管理について伺います。

答弁.. 本市の各土地改良区が管理する土地改良事業で整備した用水路・排水路・農道のほか、

ポンプ施設や頭首工などの農業用施設は、各地区組合員の皆様

が日頃から良好な維持管理を行い、必要に応じて用水路・排水路や農道の補修や改修等を実施

しながら、農業用施設の機能維持に取り組みしていると認識しています。本市においては、昭和30年代から圃場整備事業が開始され、令和5年度末現在、市

農業振興地域農用地区域内における水田整備率は60.9%に達

しましたが、一方で、早期に施工された地区では農業用施設の

老朽化が進み、更新が必要な時期を迎えてきています。現在、

本市の対応としては、各土地改良区が実施する単独事業、県単独農業農村整備事業や国庫補助対象事業に対し、大田原市土地改良事業補助金交付要綱に基づいた事業費補助を行っているほか、多面的機能支払交付金を活用した農地及び農業用施設の地域ぐるみの維持管理も強く推奨してまいります。